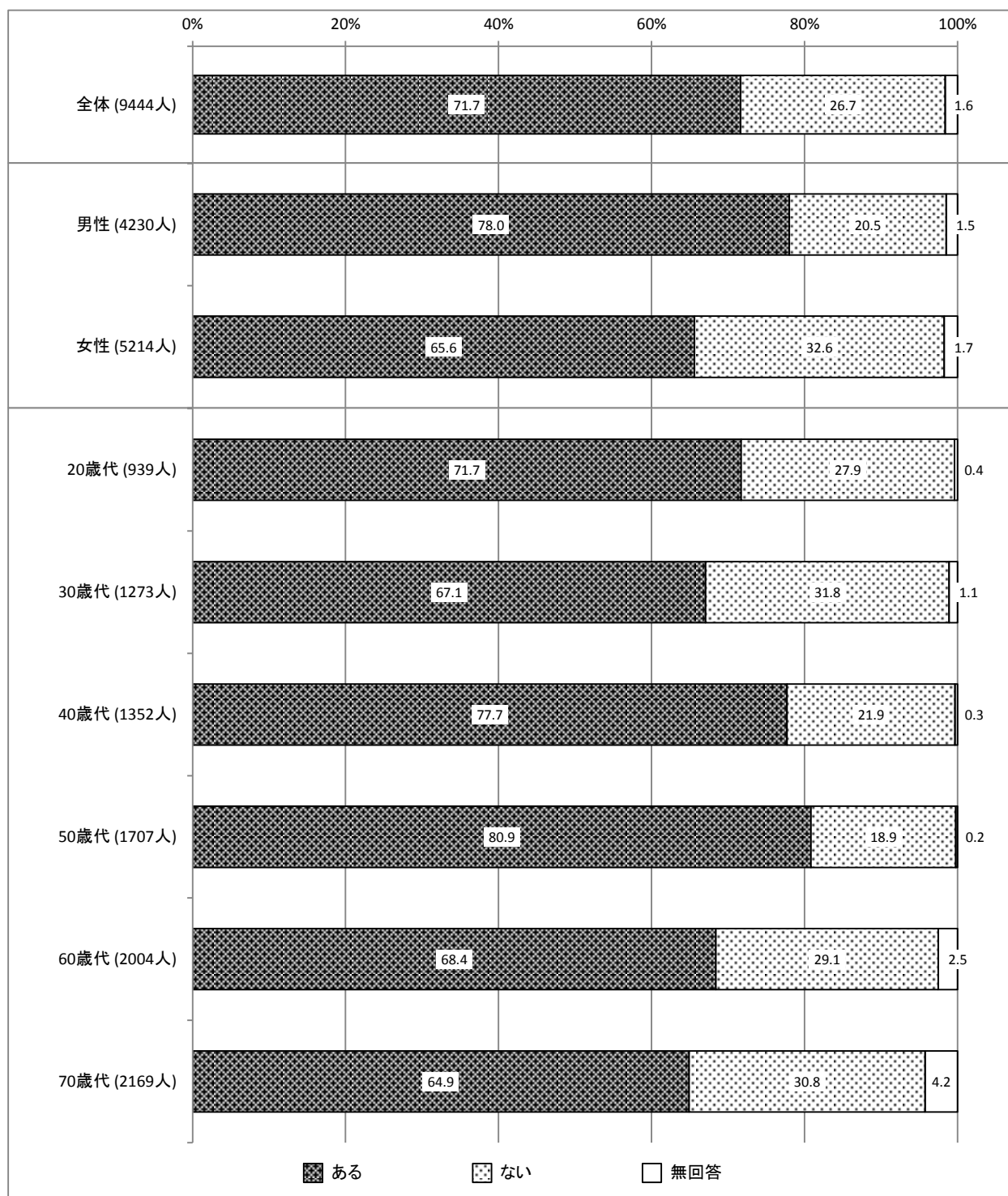


## (11) 健診(検診)の受診について

問 28 あなたは過去 1 年間に、健診等(健康診断、健康診査および人間ドック)を受けたことがありますか。  
(○は 1 つ)



「受けた(ある)」と回答した割合は全体の 71.7%、「受けていない(ない)」と回答した割合は全体の 26.7%であった。

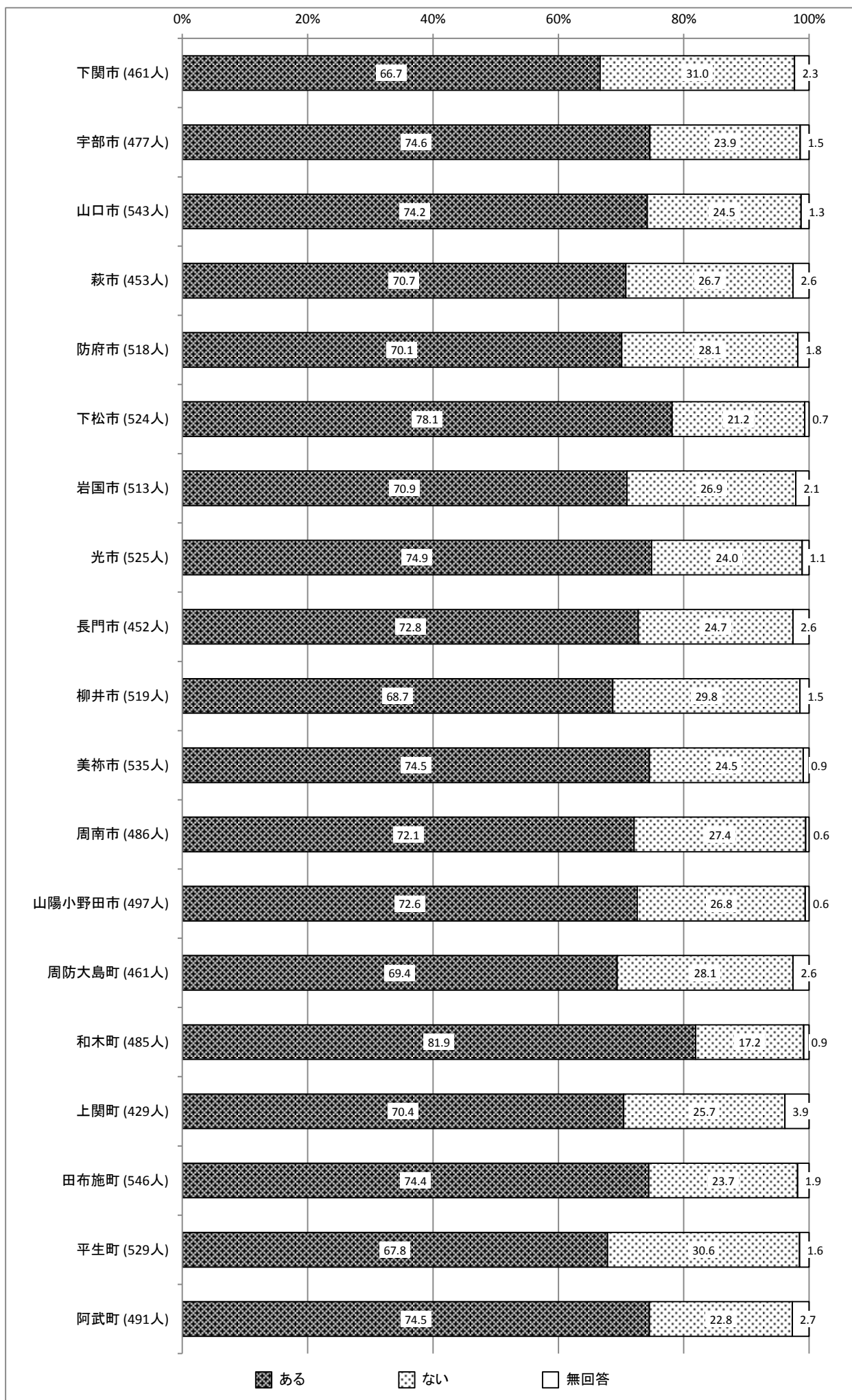
性別では、女性より男性において「受けた」と回答した割合が高かった。

年代別では、40歳代、50歳代において他の年代より「受けた」と回答した割合が高かった。

### 【参考値】

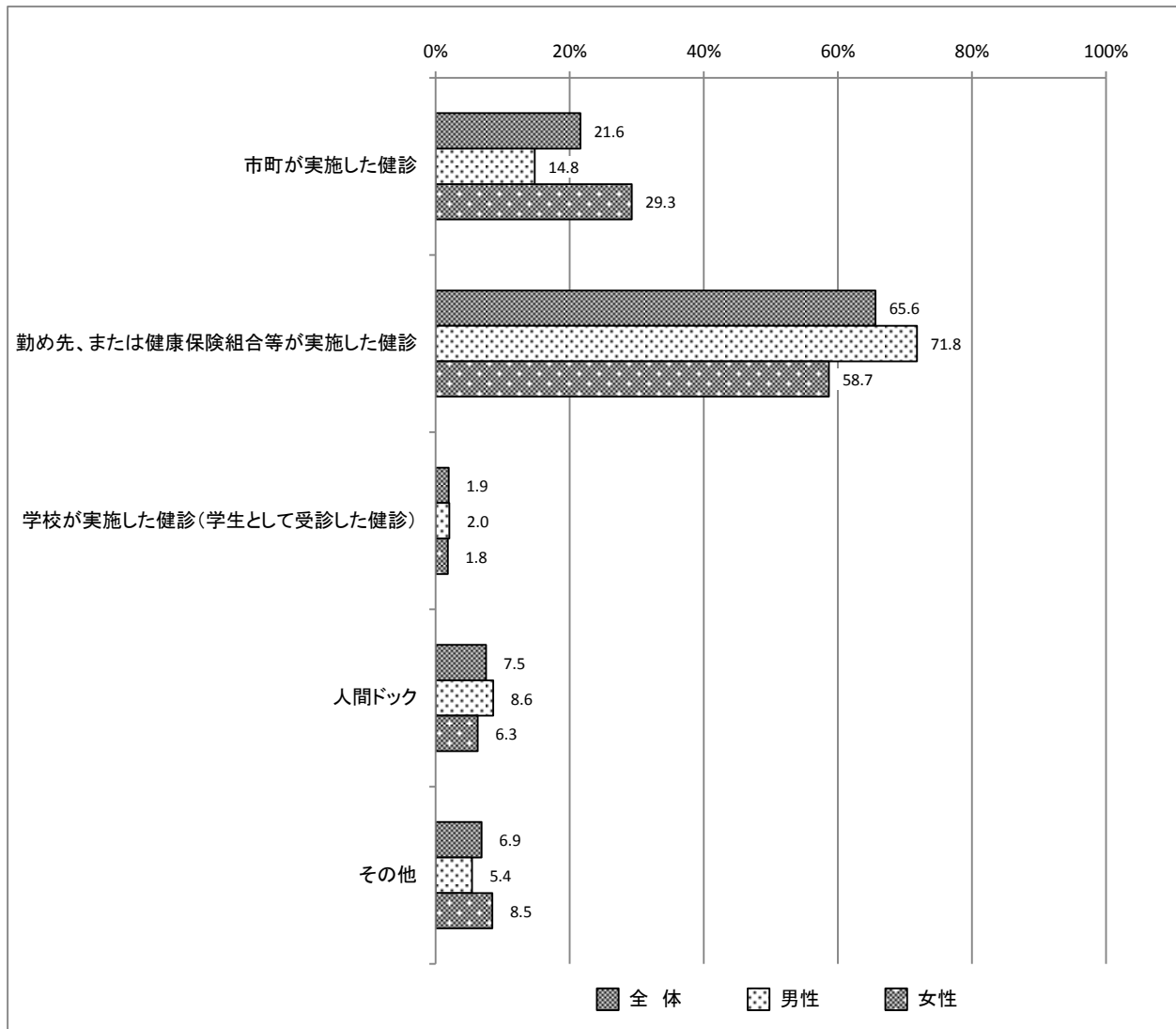
平成 26 年度 健康づくりに関する県民意識調査 「ある」 67.2%

平成 27 年度 健康づくりに関する県民意識調査 「ある」 72.1%



問 28-1 どのような機会に健診等を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

※ 問 28 の選択肢『ある』を選択した人のみ回答



問 28 で健診等を「受けた(ある)」と回答した者の健診機会の上位は「勤め先または健康保険組合等が実施した健診」65.6%、「市町が実施した健診」21.6%であった。

性別においても健診機会の上位は同様の傾向であった。

年代別では、年代が高いほど「市町が実施した健診」と回答した割合が高い傾向があり、年代が低いほど「勤め先または健康保険組合等が実施した健診」と回答した割合が高い傾向があった。

【参考値】

平成 26 年度 健康づくりに関する県民意識調査

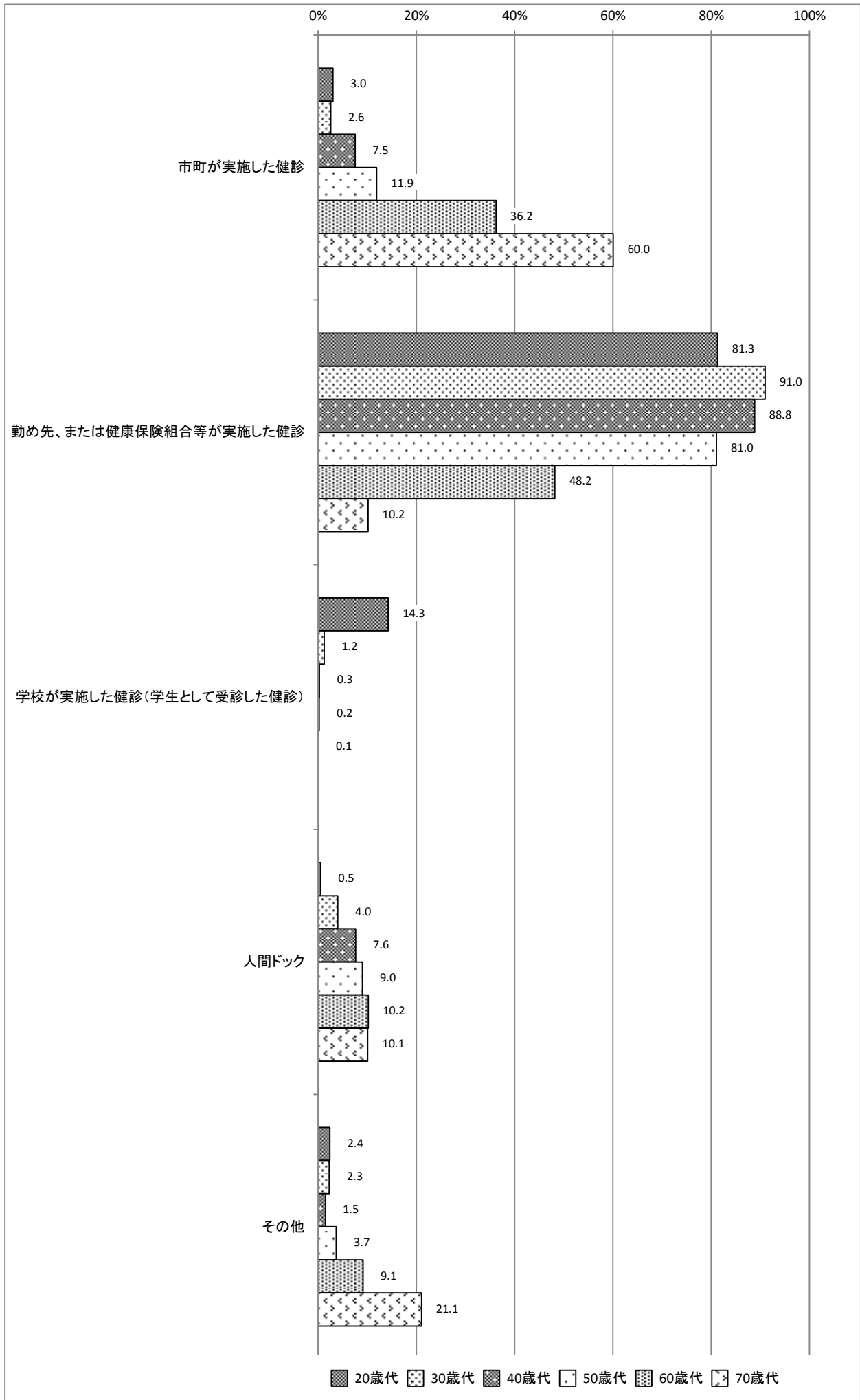
「市町が実施した健診」22.5% 「勤め先、又は健康保険組合等が実施した健診」61.3%

「学校が実施した健診」2.4% 「人間ドック」8.5%

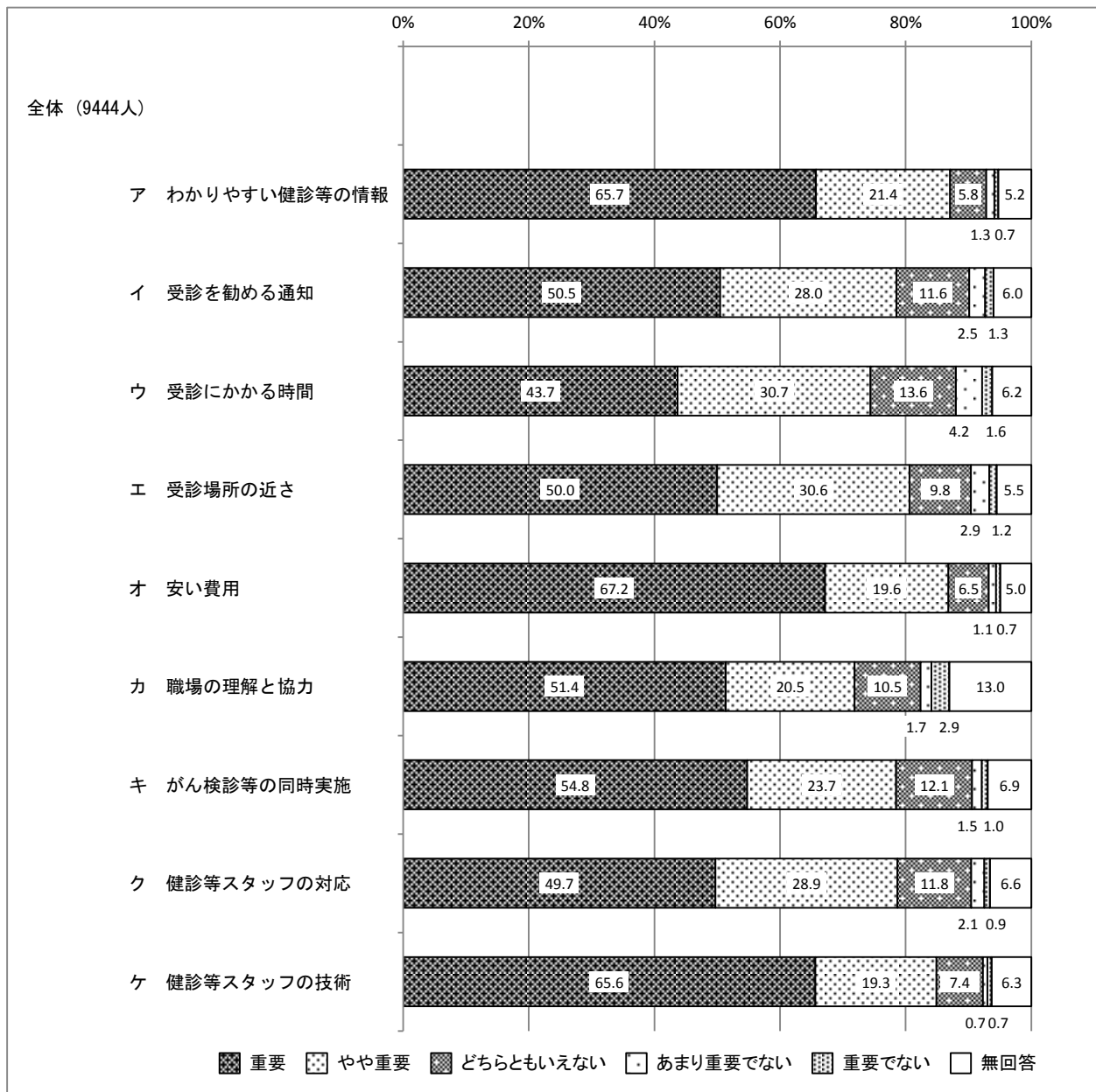
平成 27 年度 健康づくりに関する県民意識調査

「市町が実施した健診」22.1% 「勤め先、又は健康保険組合等が実施した健診」64.5%

「学校が実施した健診」2.0% 「人間ドック」8.1%



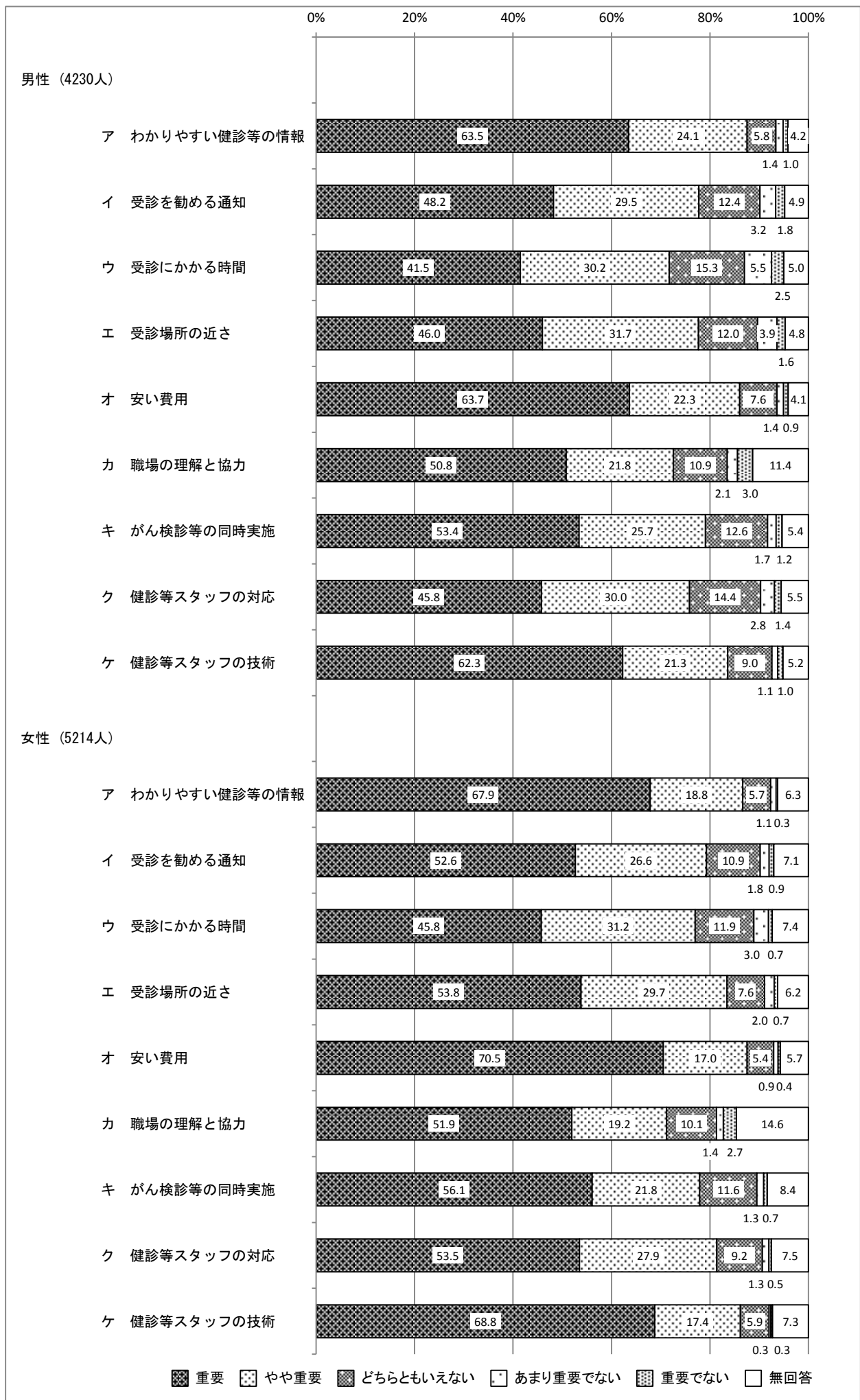
問 29 健診等(健康診断、健康診査および人間ドック)を受けるときに、次の項目はどのくらい重要だと思いますか。(各項目につき○は1つ)

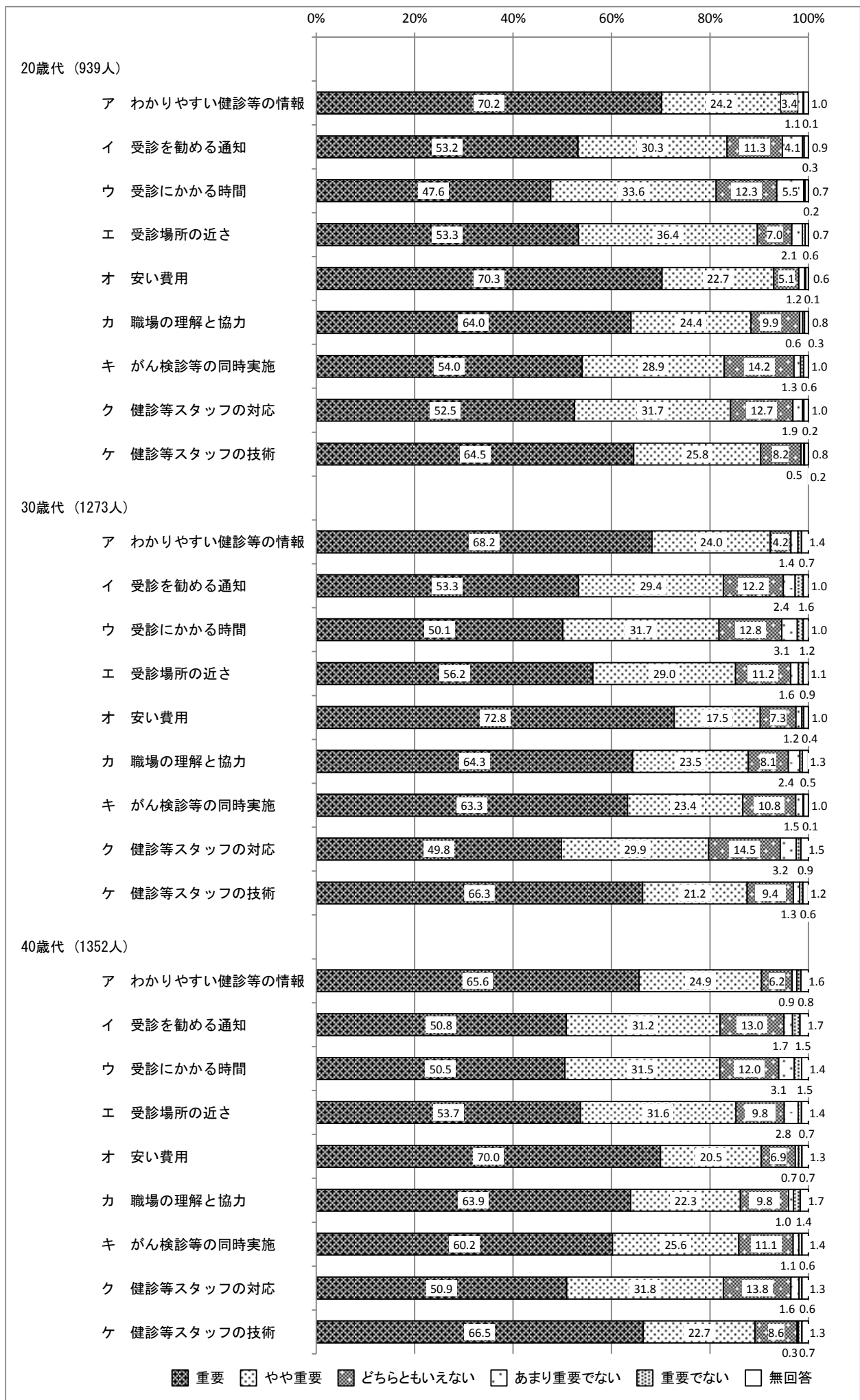


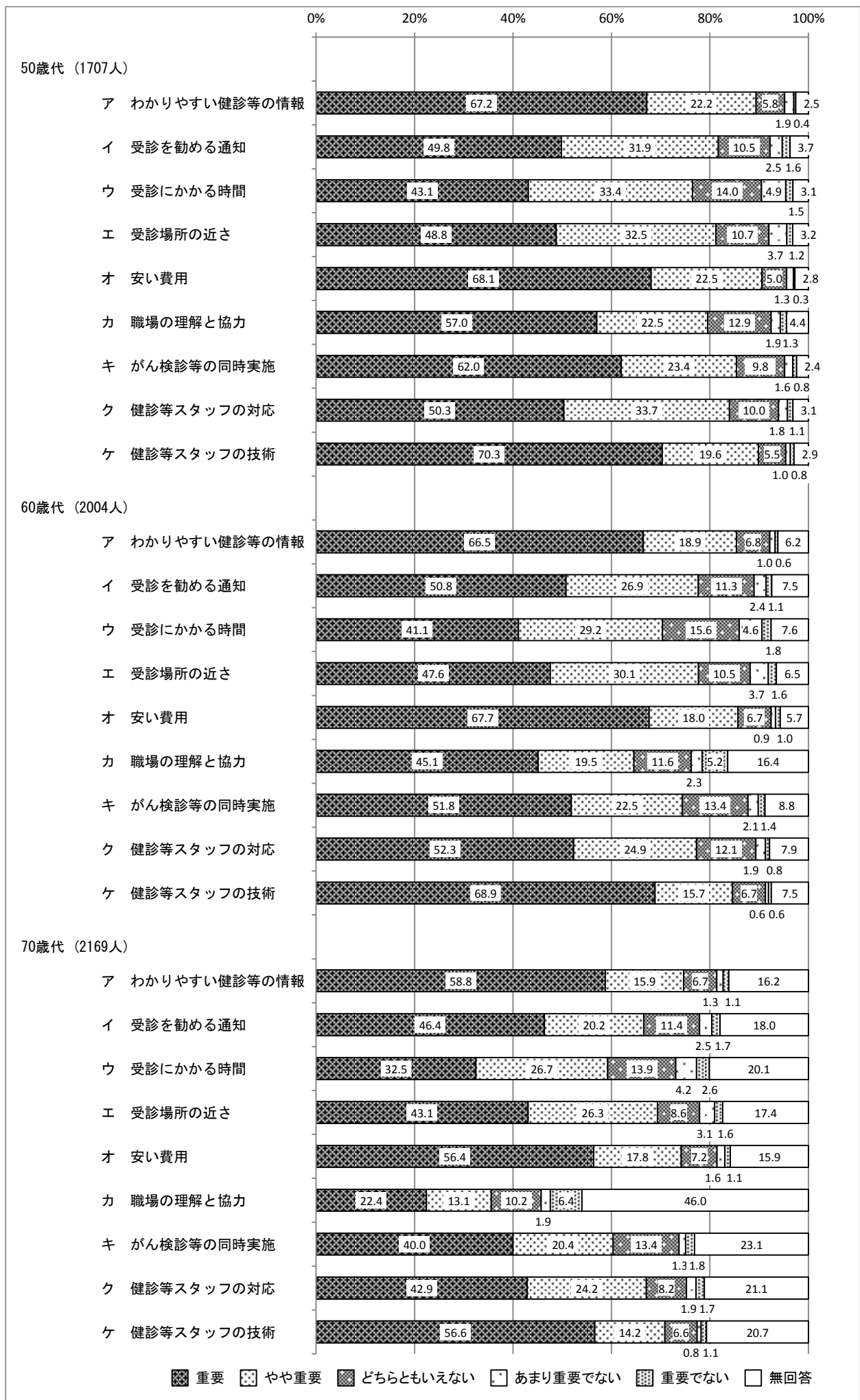
「重要」あるいは「やや重要」だと思う項目の上位は「わかりやすい健診等の情報」87.1%、「安い費用」86.8%、「健診等スタッフの技術」84.9%であった。

性別、年代別においても「重要」あるいは「やや重要」だと思う項目の上位は同様であった。

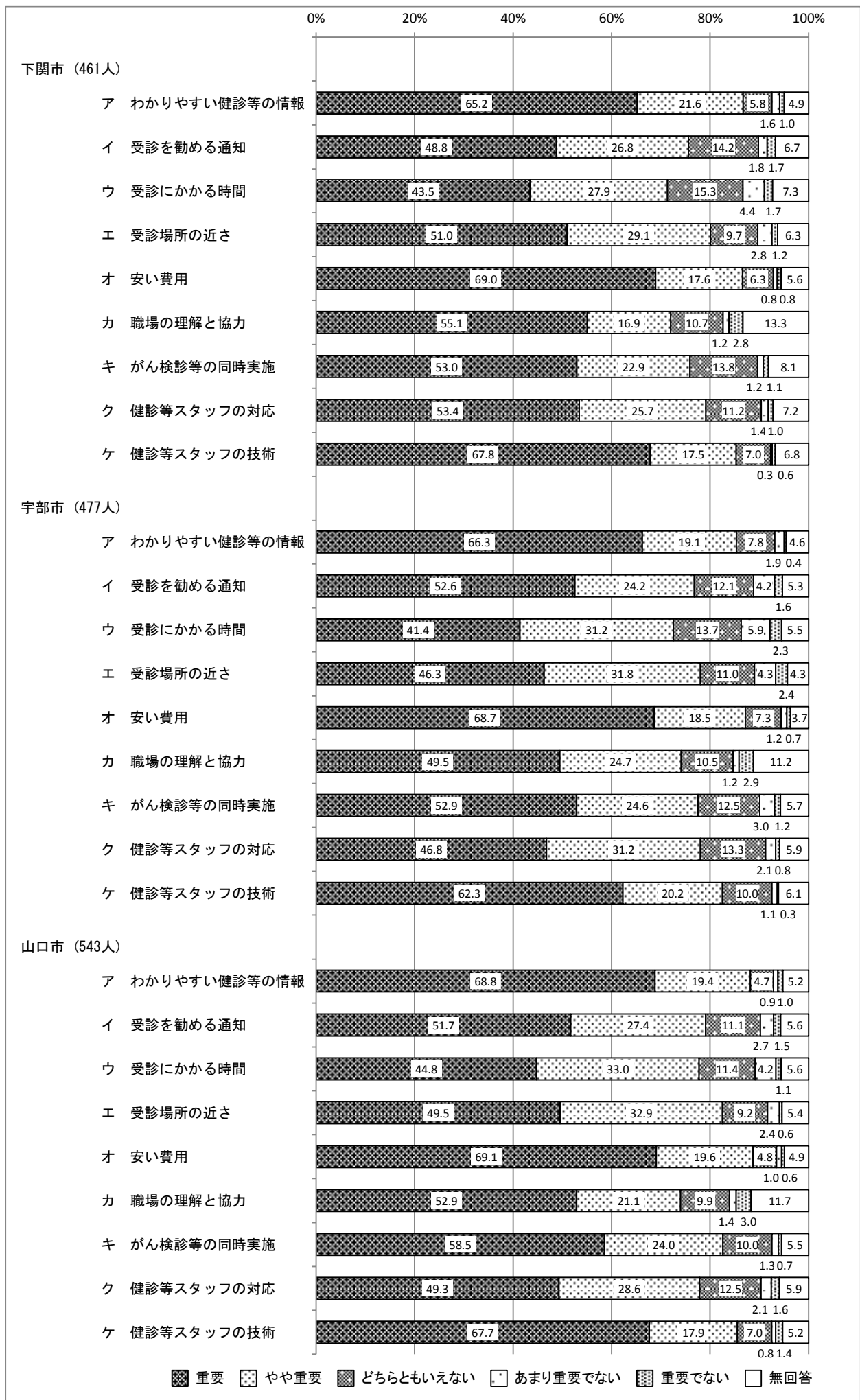
年代別では、20歳代から40歳代において「受診場所の近さ」、「職場の理解と協力」、「がん検診等の同時実施」を「重要」あるいは「やや重要」と回答した割合が高い傾向であった。

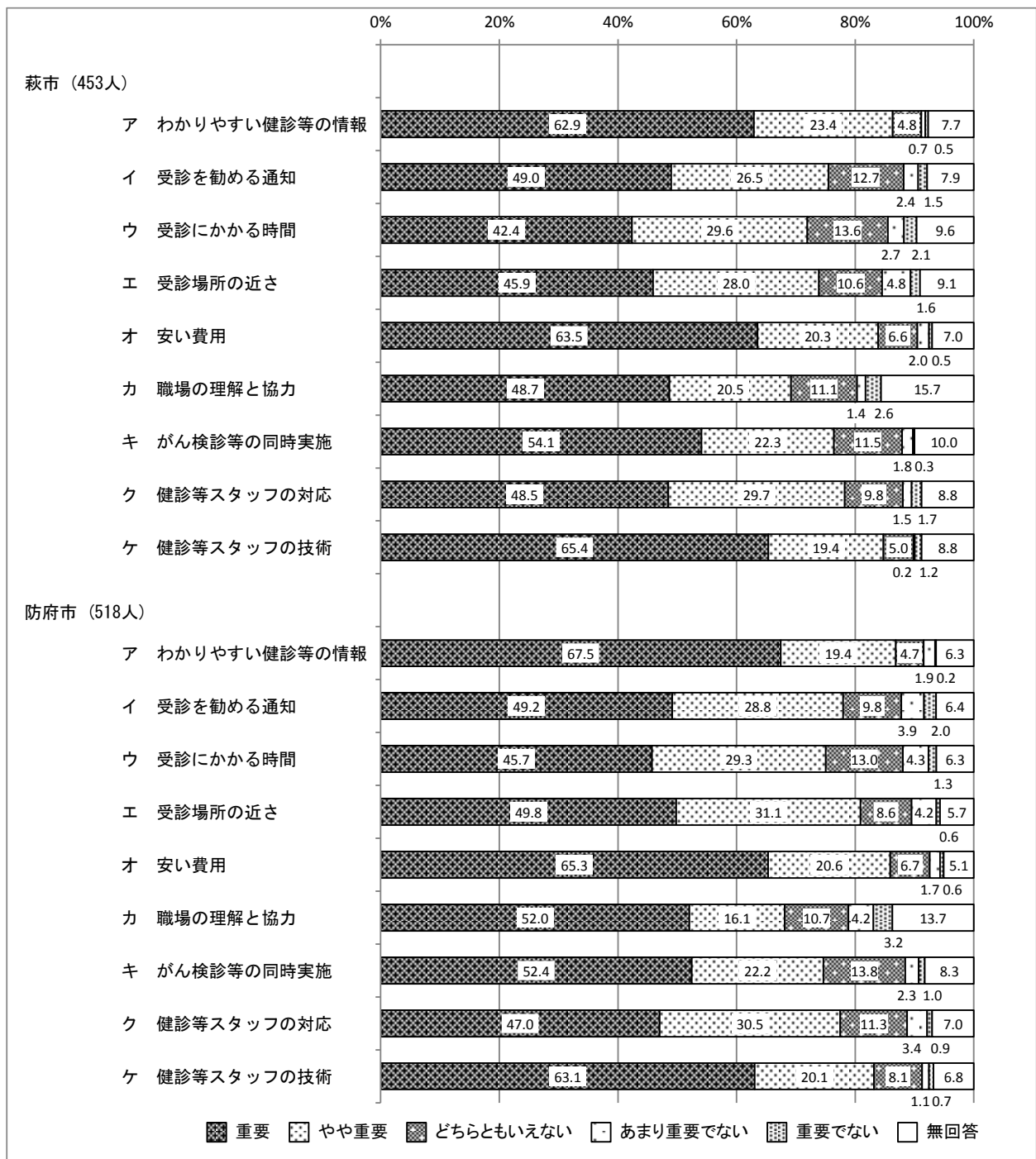


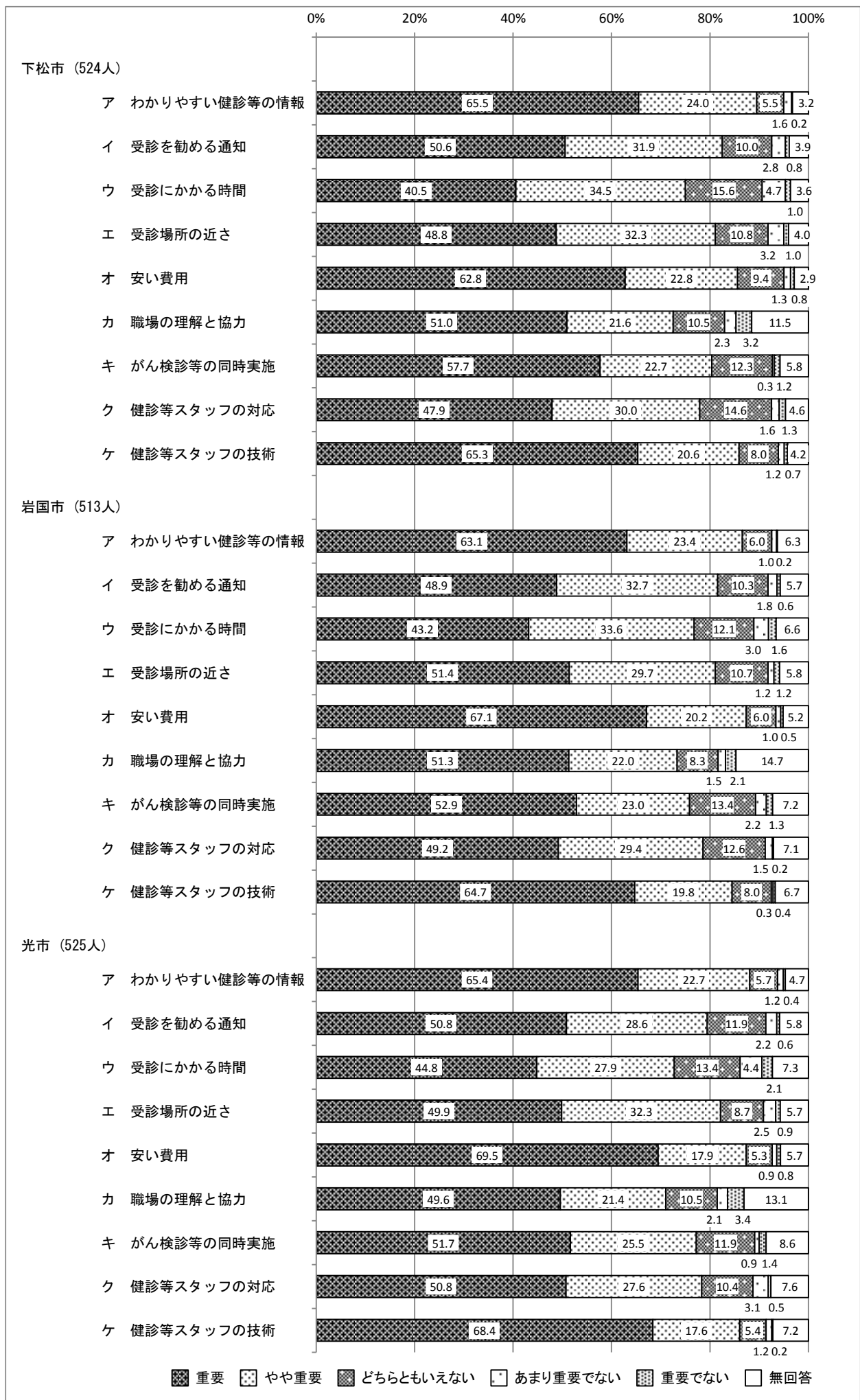


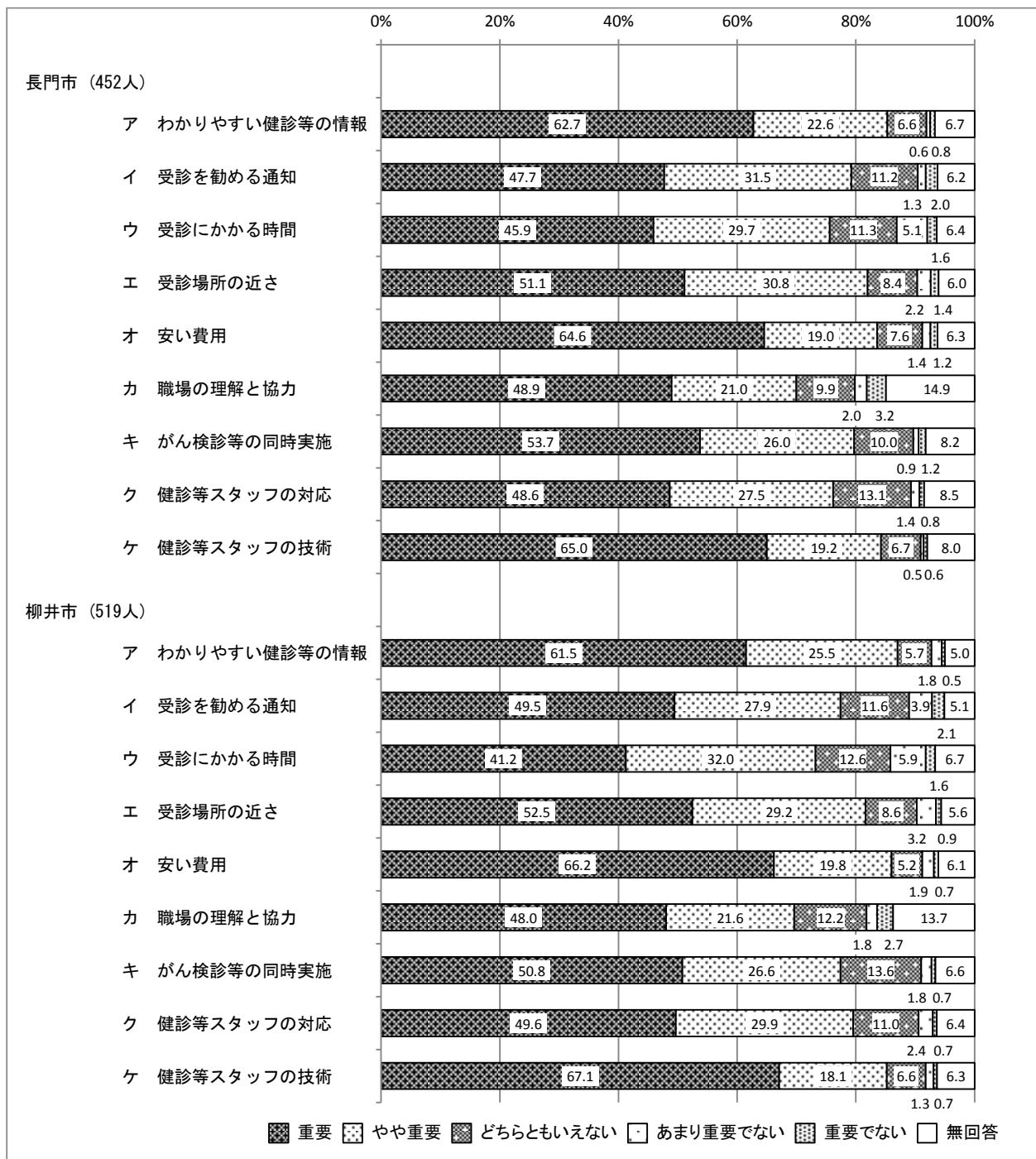


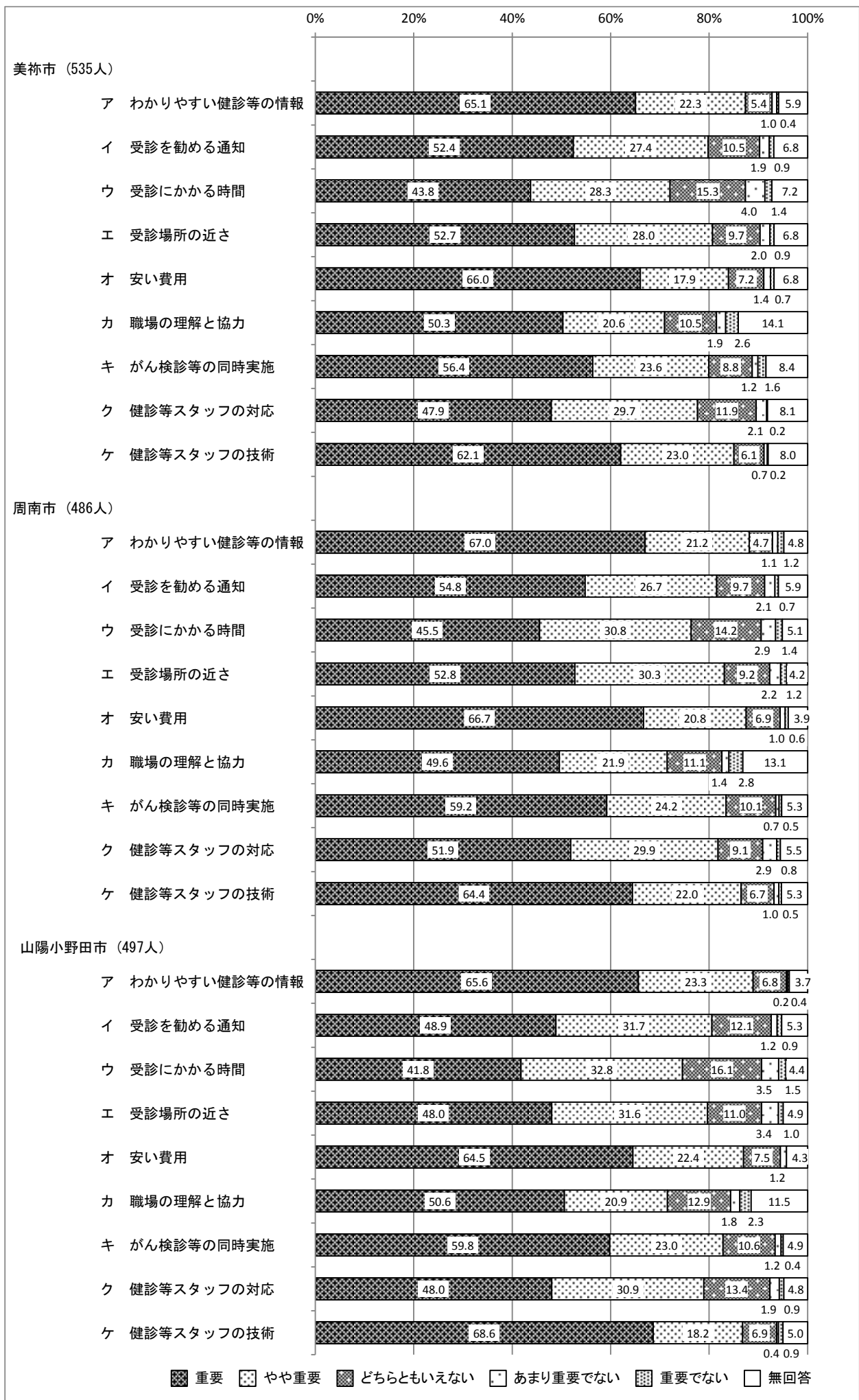


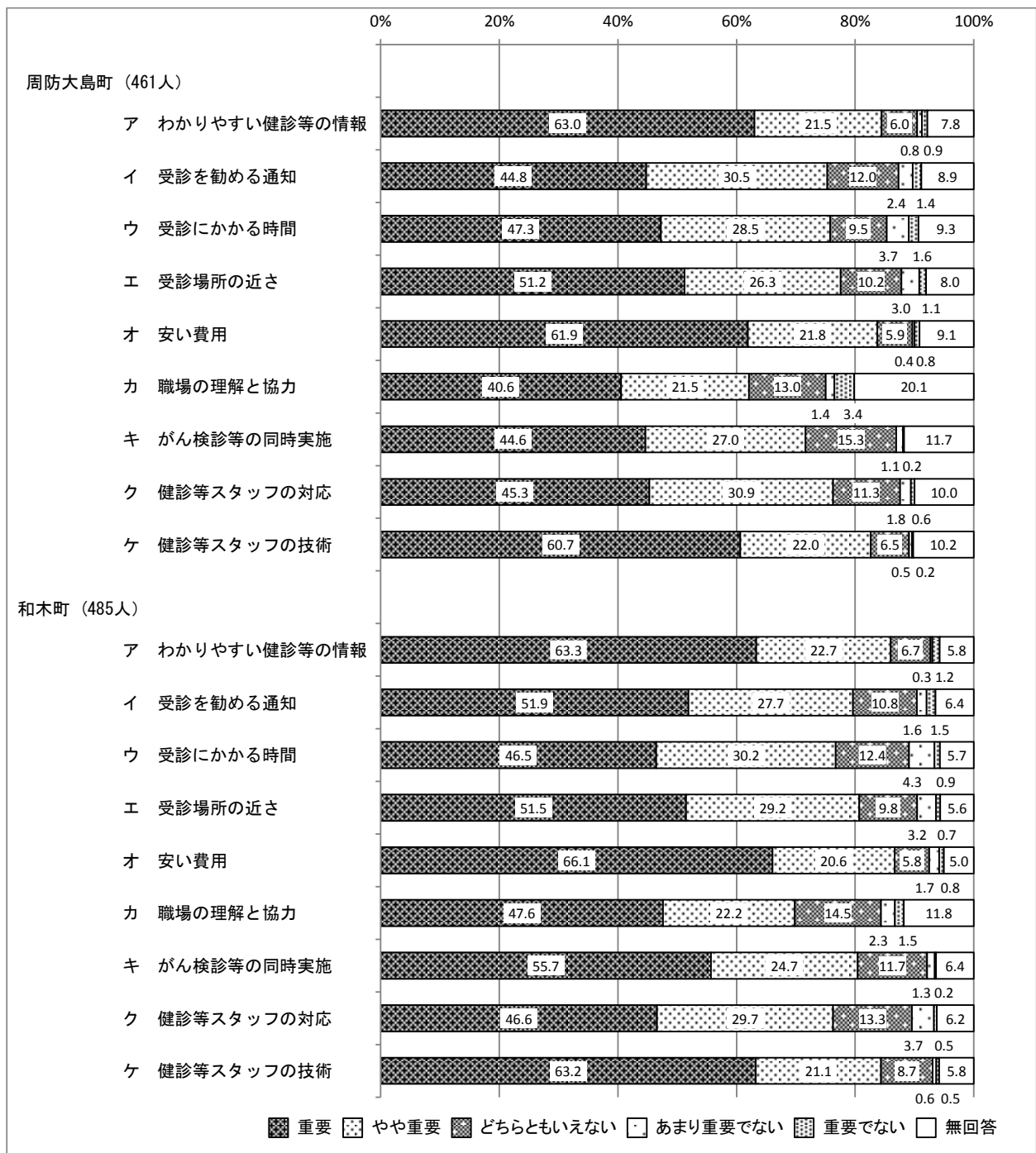


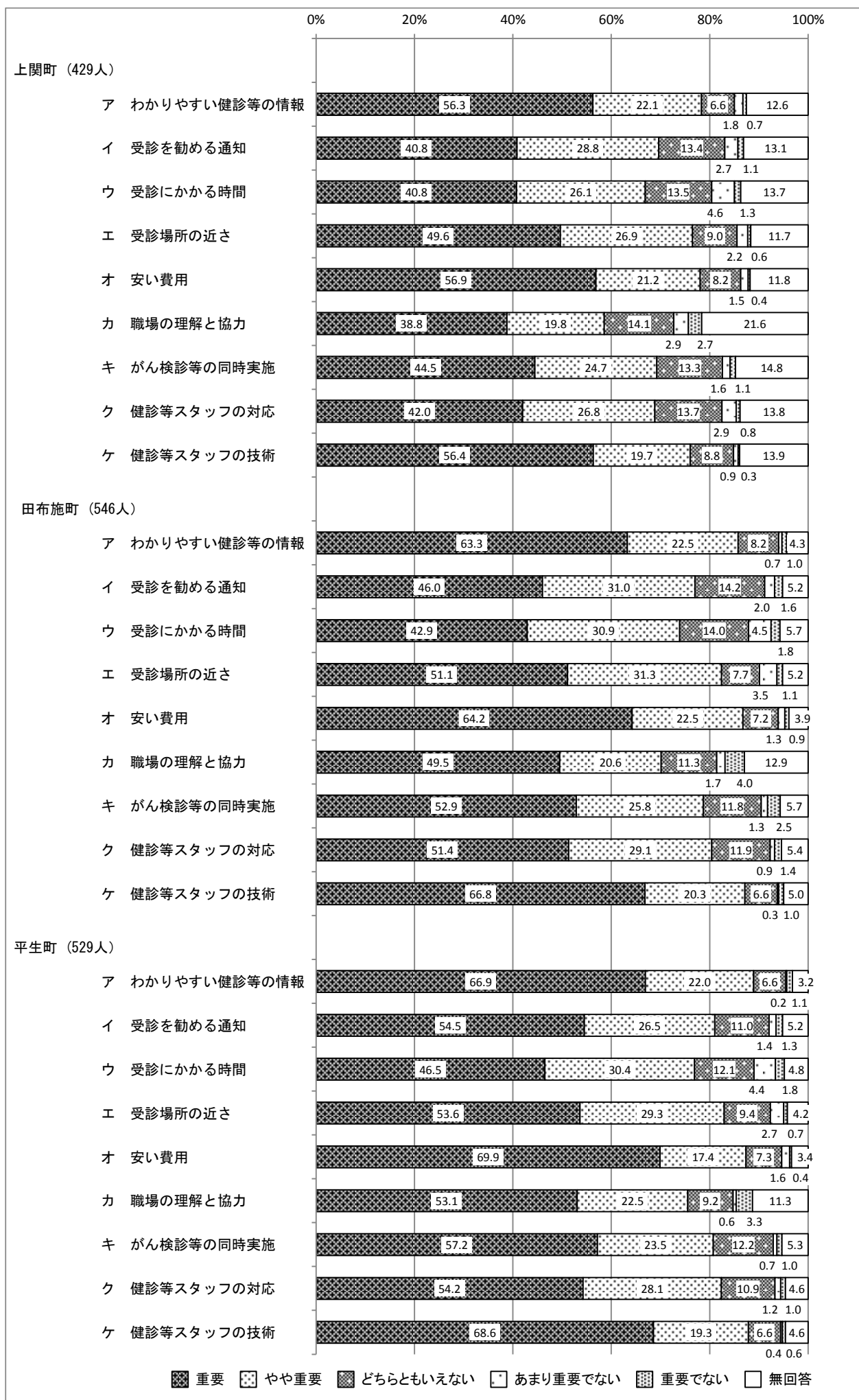


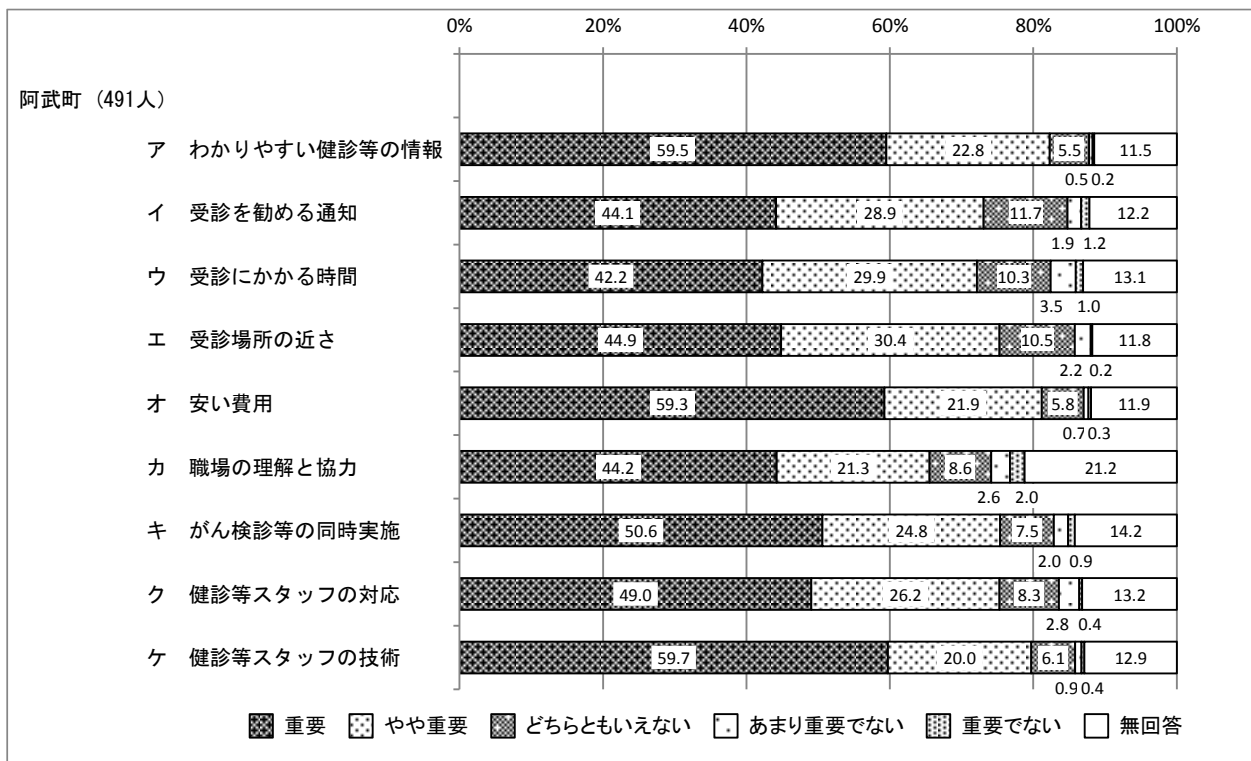






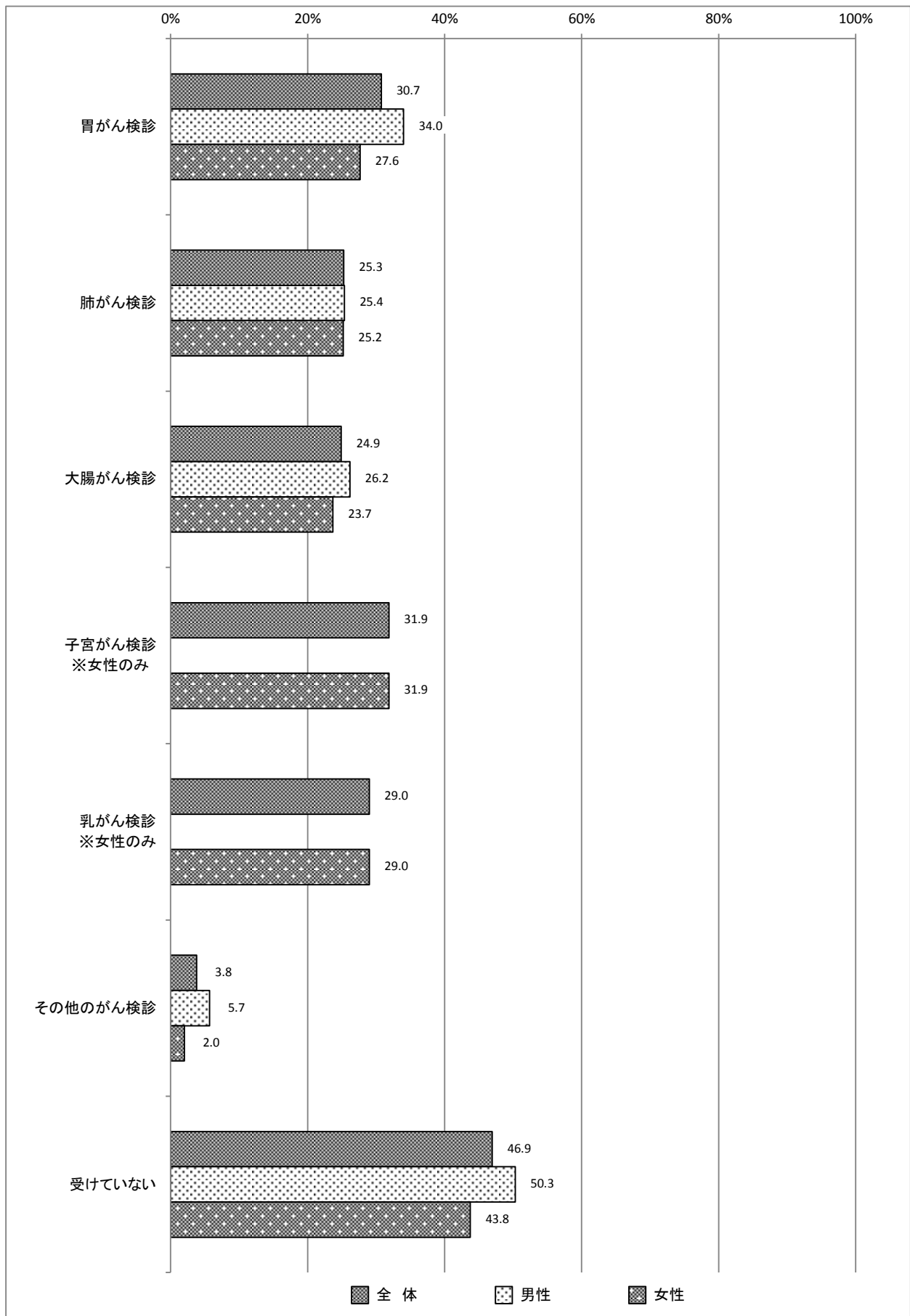








問 30 あなたは過去 1 年間(子宮がん検診(子宮頸がん検診)、乳がん検診は過去 2 年間)に、以下のがん検診を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)



受診したがん検診の割合は「胃がん検診」30.7%、「肺がん検診」25.3%、「大腸がん検診」24.9%、「子宮がん検診(女性のみ)」31.9%、「乳がん検診(女性のみ)」29.0%であり、「受けていない」という回答は全体の46.9%であった。

性別では、女性より男性において「胃がん検診」、「大腸がん検診」を受診したと回答した割合が高かった。

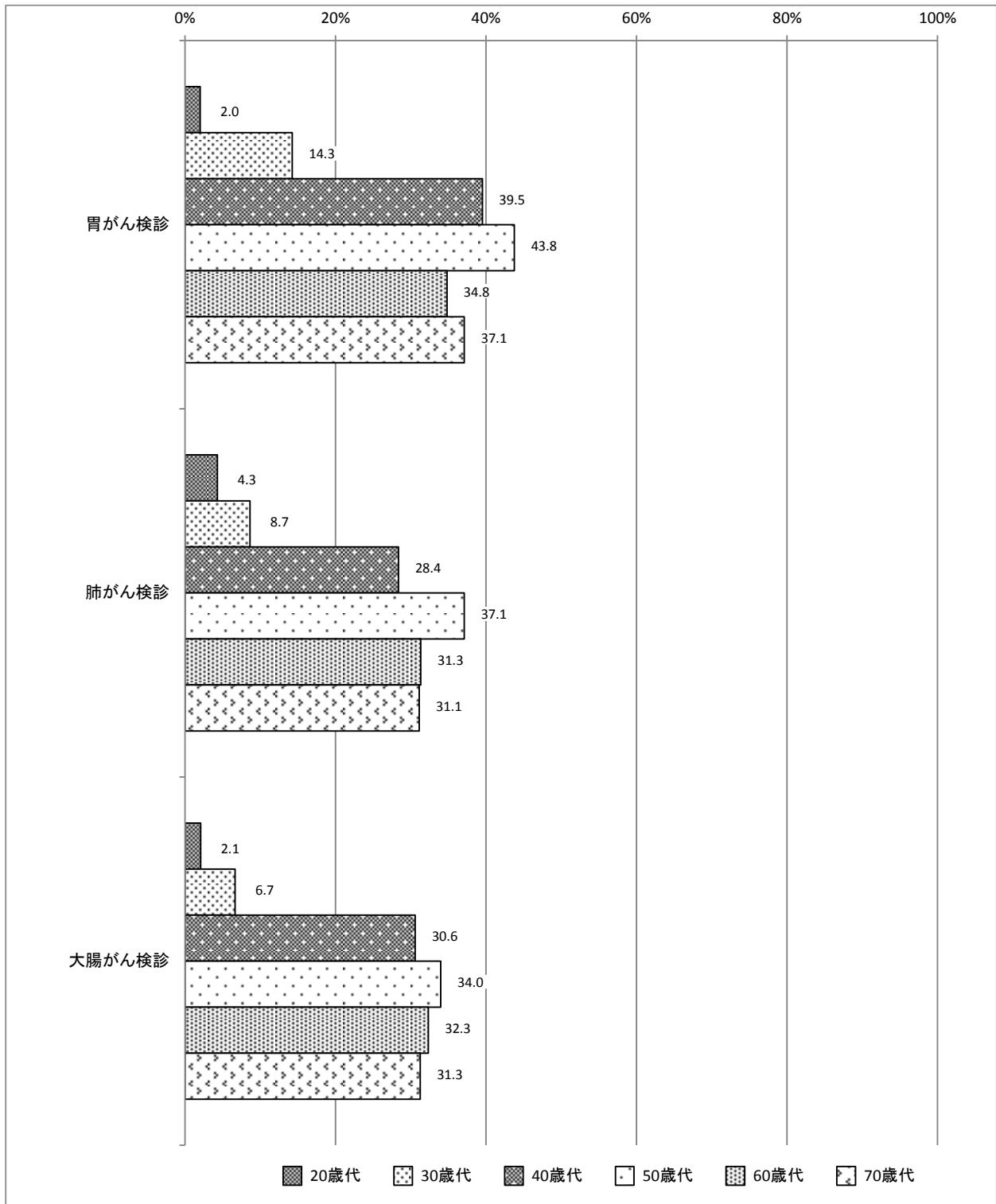
年代別では、20歳代、30歳代において他の年代より「胃がん検診」、「肺がん検診」、「大腸がん検診」を受診したと回答した割合が低かった。

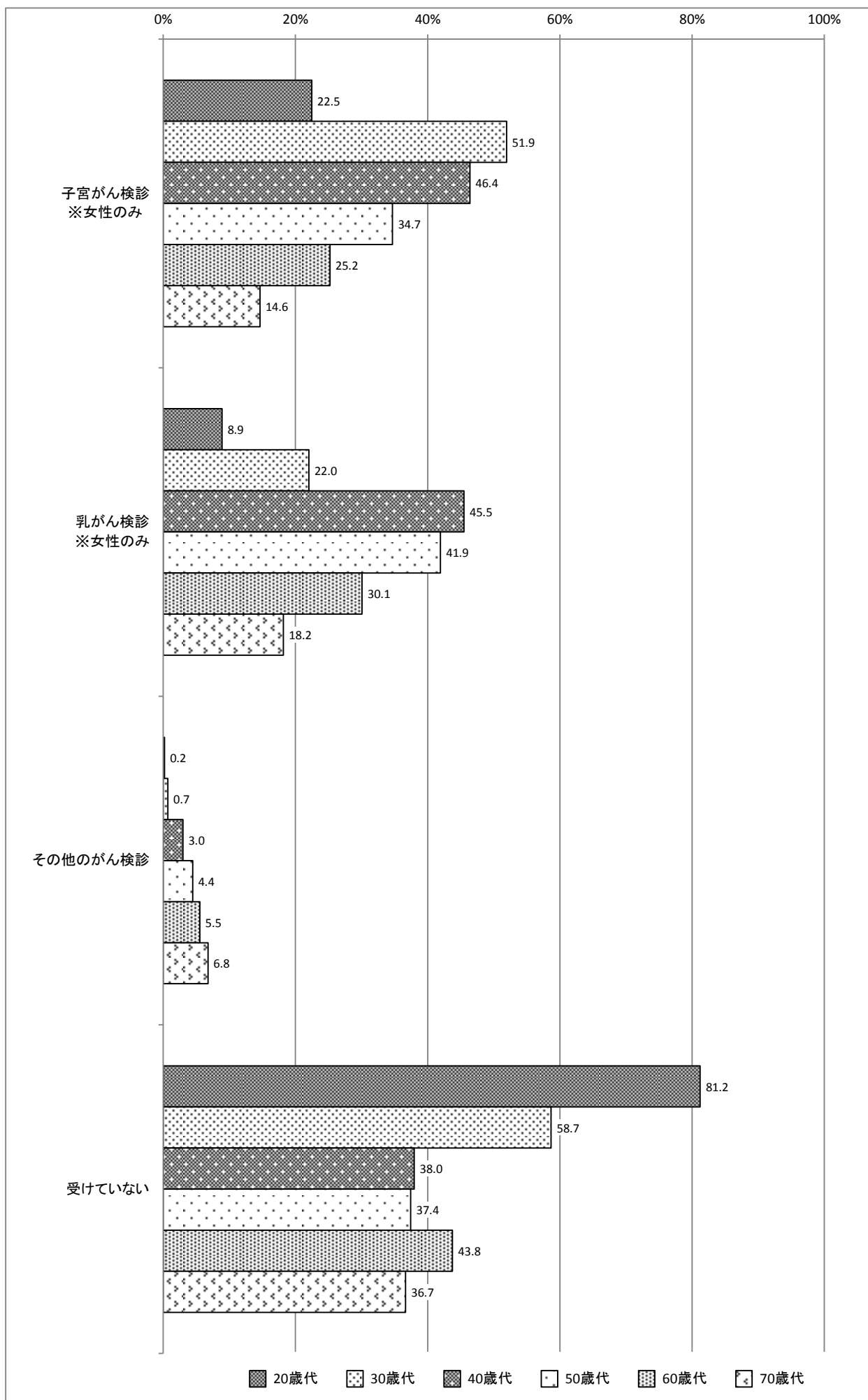
女性を対象とした「子宮がん検診」は30歳代、40歳代において、また、「乳がん検診」は40歳代、50歳代において受診したと回答した割合が40%を超えており、他の年代より割合が高かった。

**【参考値】**

平成26年度 健康づくりに関する県民意識調査 「受けていない」50.6%

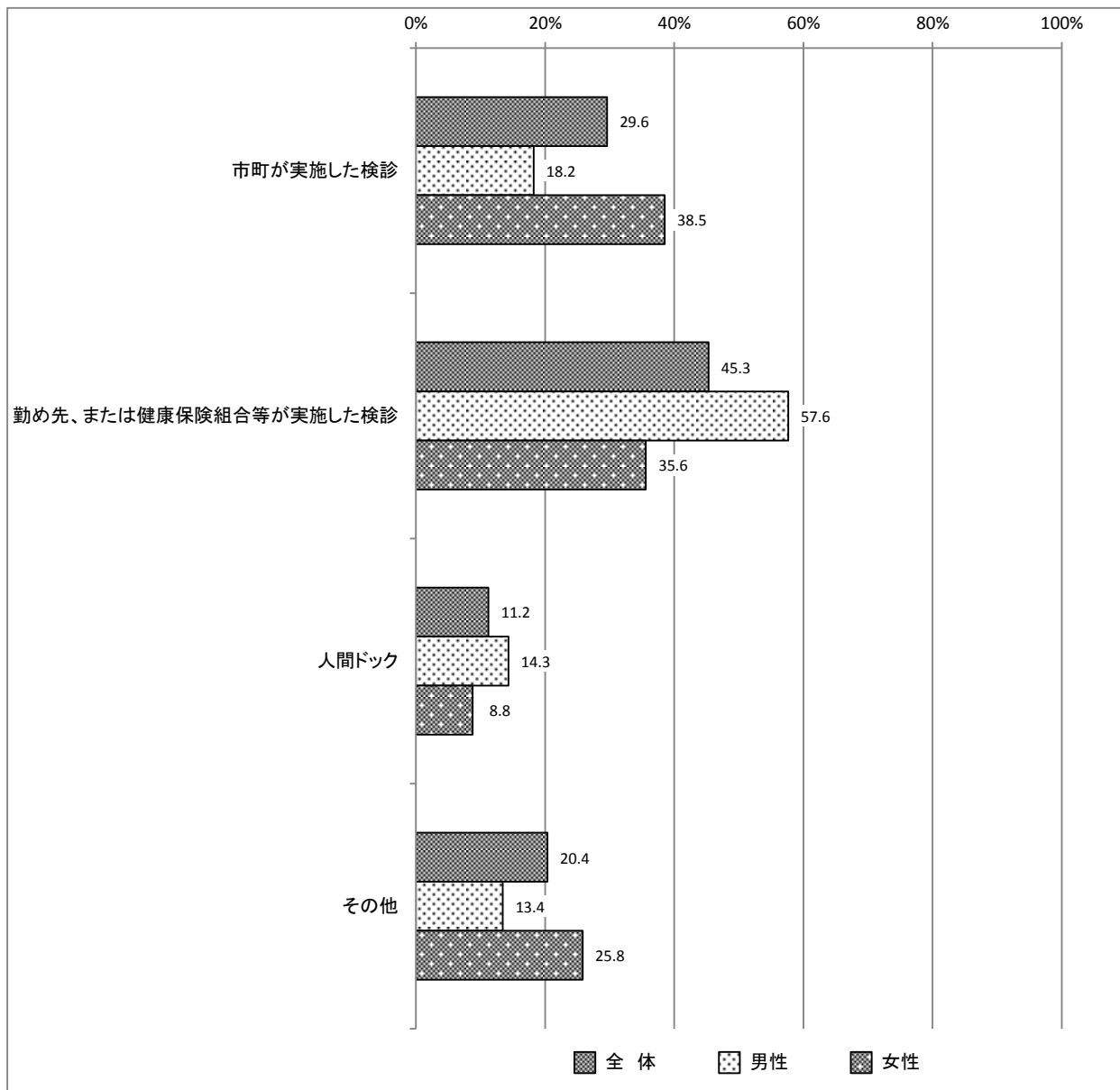
平成27年度 健康づくりに関する県民意識調査 「受けていない」46.9%





問 30-1 どのような機会にがん検診を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

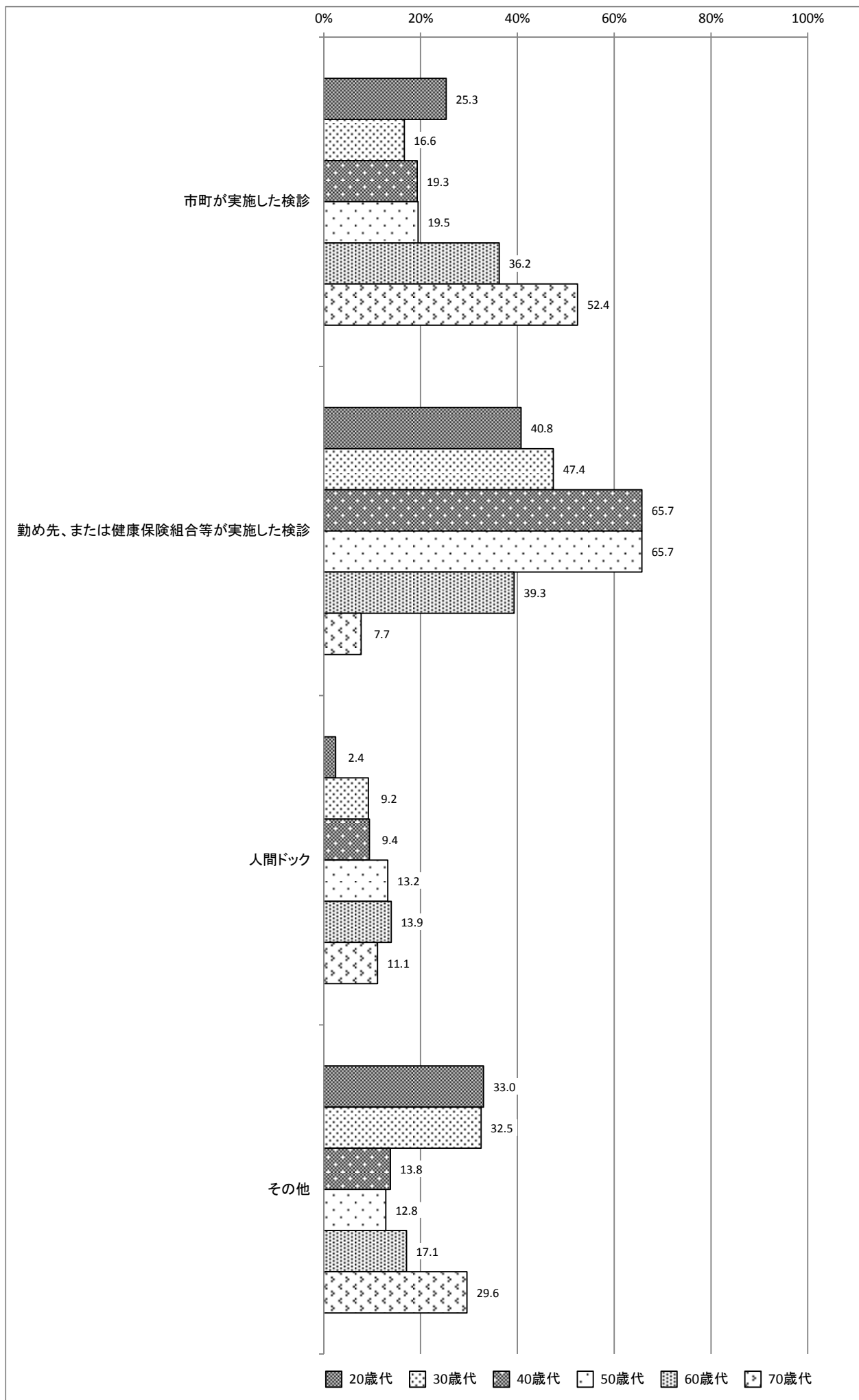
※ 問 30 の選択肢にていずれかのがん検診を選択した人のみ回答



問 30 において、がん検診を受診したと回答した者の受診機会の上位は「勤め先、または健康保険組合等が実施した検診」45.3%、「市町が実施した検診」29.6%、「その他」20.4%であった。「その他」における自由記載は、ほとんど医療保険利用と推察できる内容の記入であった。

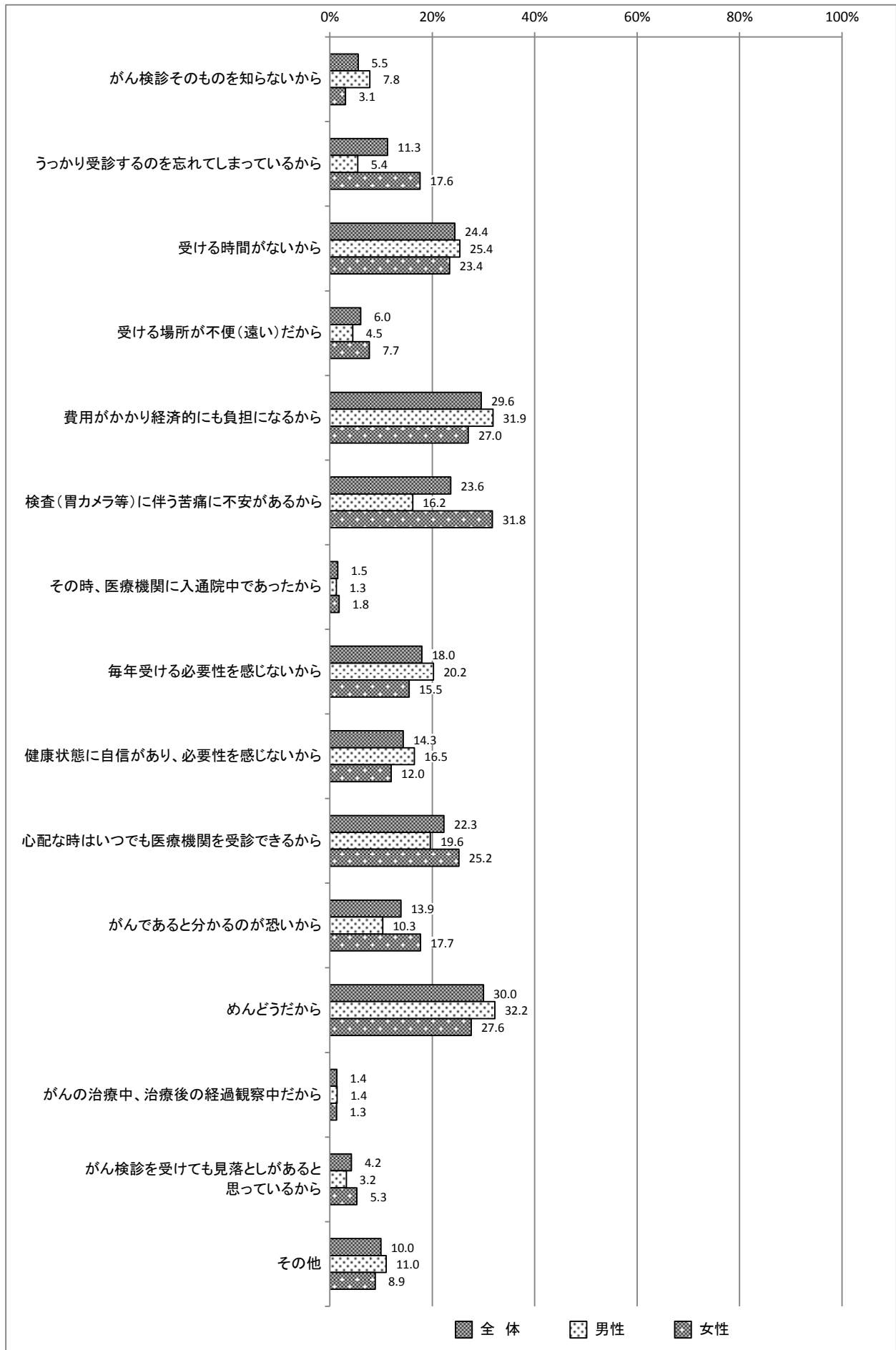
性別では、男性より女性において「市町が実施した検診」と回答した割合が高く、女性より男性において「勤め先、または健康保険組合等が実施した検診」と回答した割合が高かった。

年代別では、60 歳代、70 歳代において他の年代より「市町が実施した検診」と回答した割合が高く、40 歳代、50 歳代において他の年代より「勤め先、または健康保険組合等が実施した検診」と回答した割合が高かった。



問 30-2 あなたが、がん検診を受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 問 30 の選択肢『受けていない』を選択した人のみ回答

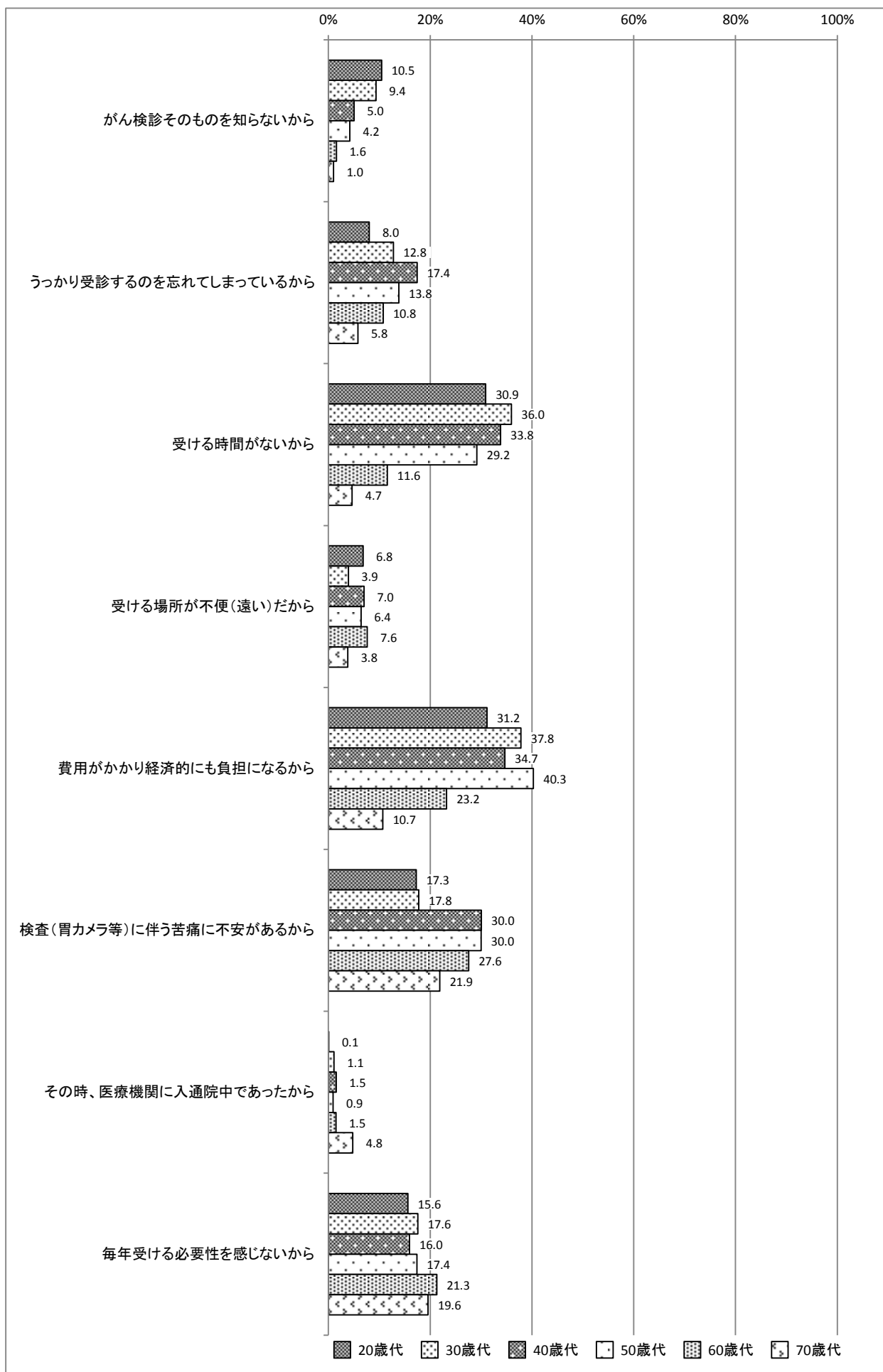


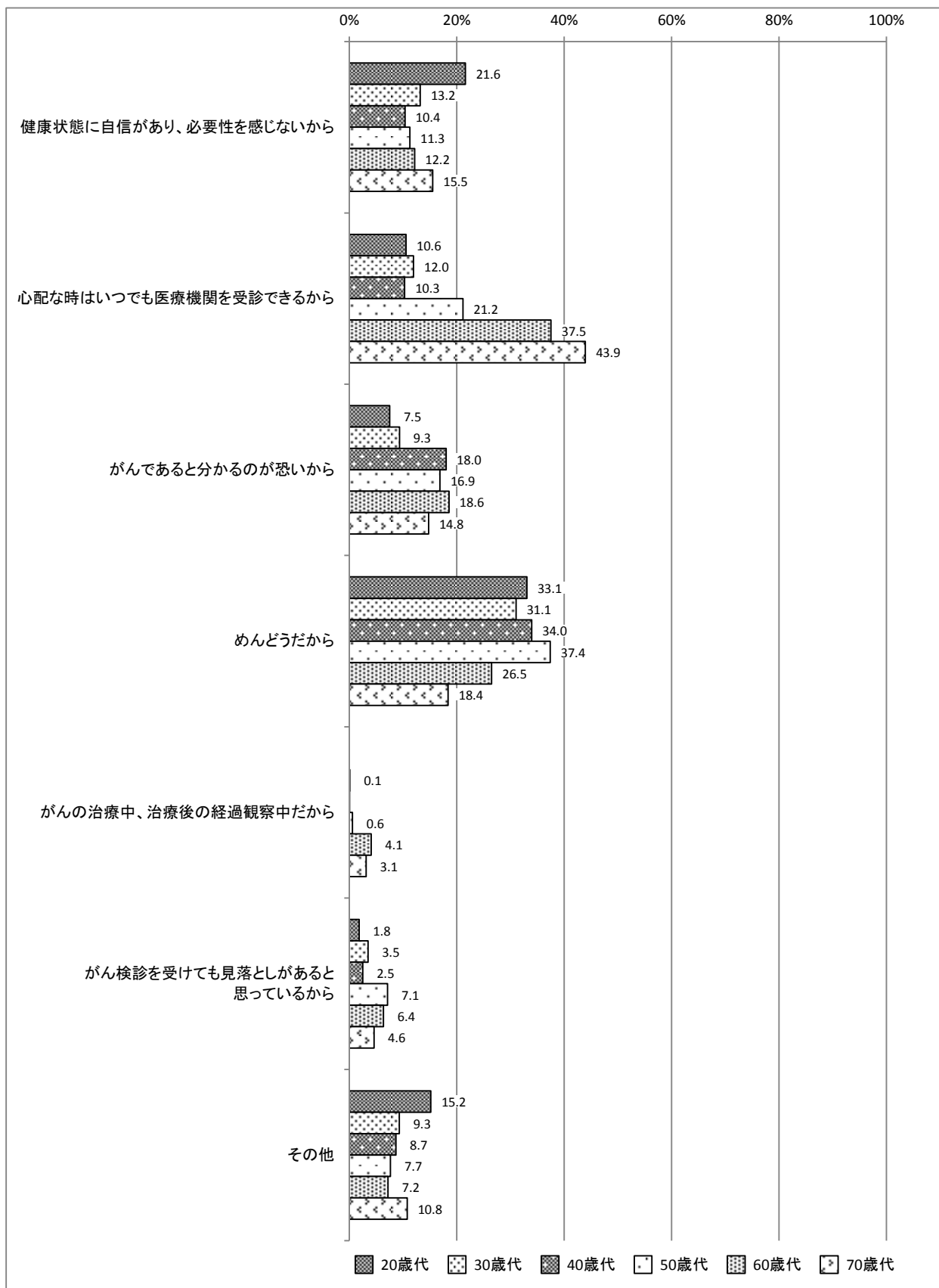
問 30 において、がん検診を「受けていない」と回答した者の理由の上位は、「めんどうだから」30.0%、「費用がかかり経済的にも負担になるから」29.6%、「受ける時間がないから」24.4%、「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」23.6%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」22.3%であった。

理由の上位のうち、性別では、「めんどうだから」、「費用がかかり経済的にも負担になるから」、「受ける時間がないから」と回答した割合は女性より男性において高く、「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と回答した割合は男性より女性において高かった。

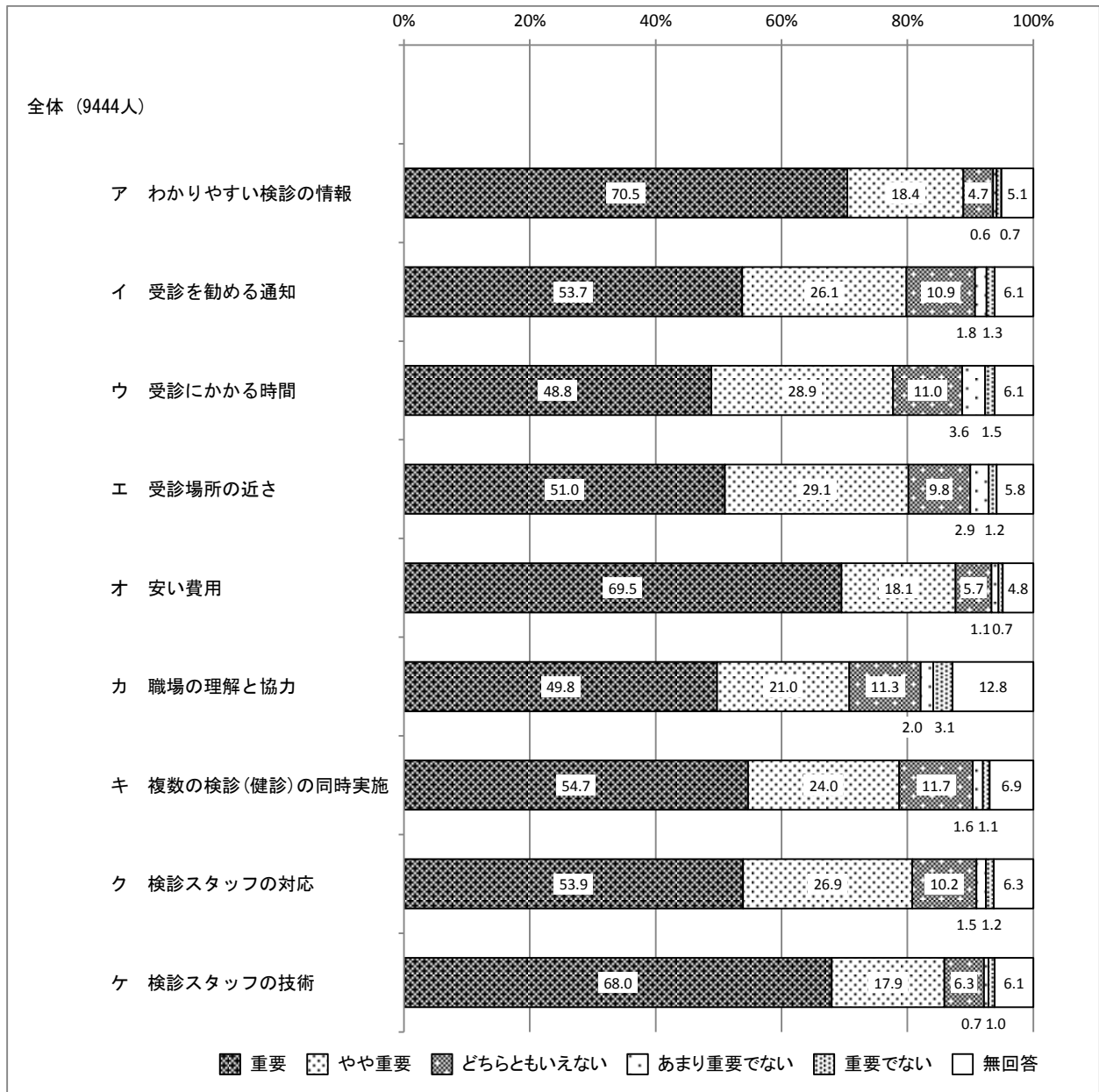
年代別では、「めんどうだから」、「費用がかかり経済的にも負担になるから」、「受ける時間がないから」と回答した割合は 20 歳代から 50 歳代において他の年代より高く、「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」と回答した割合は 40 歳代から 60 歳代において他の年代より高かった。また、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と回答した割合は 60 歳代、70 歳代において他の年代より高かった。







問 31 がん検診を受けるときに、次の項目はどのくらい重要だと思いますか。(各項目につき○は1つ)



「重要」あるいは「やや重要」だと思う項目の上位は「わかりやすい検診の情報」88.9%、「安い費用」87.6%、「検診スタッフの技術」85.9%であった。

性別、年代別においても上位項目は同様の傾向であった。

年代別では、20歳代から40歳代において「受診場所の近さ」、「職場の理解と協力」、「複数の検診(健診)の同時実施」について「重要」あるいは「やや重要」と回答した割合が高かった。

